



「海外に子ども用車椅子を送る会」を 支援してくださる皆様へ



2025年3月号 vol. 32

子ども用車椅子
これまでに
送り届けた国々

累計 26ヶ国

10,135台

2025年2月末現在

世界の肢体不自由の子どもたちに動ける喜びを



提供する

- 使われなくなった子ども用車椅子を首都圏の特別支援学校や療育センターなどのご協力で収集しています。



会員になる

- 会員としての活動への参加をお待ちしています。
- 年会費は個人3,000円、法人は20,000円です。



寄付する

- 国内外の活動に経済的支援をお願いします。
- 海外へ送るには整備費・輸送費など1台約1.4万円かかります。

お振込先

ゆうちょ銀行 口座番号: 00130-9-389966
海外に子ども用車椅子を送る会
多摩信用金庫 昭島支店 普通 3933782
海外に子ども用車椅子を送る会
りそな銀行 福生支店 普通 4145946
海外に子ども用車椅子を送る会



活動する



- 会員でなくても清掃、整備等の作業に参加できます。
- 毎月第2日曜日に整備作業を行っています。
- 参加者の交流の場です。見学参加を歓迎します。

活動場所
海外に子ども用車椅子を送る会
拝島倉庫
福生市熊川73番地
(青梅線拝島駅より徒歩16分)

毎月第2日曜日
kaigaikurumaisu.org

詳細はHPで



N P O 法 人

海外に 子ども用 車椅子を 送る会



活動
レポート

2025年3月 第32号



モンゴルの子どもたちに107台を贈呈へ

～ 初めて当会単独で車椅子や補装具などを送りました。～

2024年11月29日、モンゴルの「Universal Progress 自立生活センター」(代表 Munkhjargal Narankhuu氏)に向けた車椅子や補装具を積載したコンテナ船が東京港を出ました。ウランバートルに着くのは2025年2～3月末の見込みでしたが、発送当初の見込みより早く1月末にはウランバートルに到着しました。通関などの手伝いをしてくれたのは、JICA海外協力隊員のOさんです。当会が、単独でモンゴルへ車椅子を送るのは今回が初めてです。同氏のお力添えで無事通関を果たすことができました。

今後は、子どもたちや、施設、病院等への配分を決めて、5つの地方に送ります。既に贈呈式の日程は決まっています。4月18日開催予定の式典には当会のメンバーと昭島中央ロータリークラブの有志の皆さんが出席する予定です。同ロータリークラブは、今回のモンゴルプロジェクトに関して金銭面や車椅子の清掃・整備活動でも支援していただいています。



日本で…

モンゴル向け107台の車椅子等をコンテナに積み込みます。最後に、森田会長が盗難防止用の「シール」で扉を封印しました。



現地…

コンテナからの荷下ろしは、厳寒のマイナス30度の環境の中で行われました。現地の多くの支援者により、倉庫の確保と荷下ろし作業が行われました。改めて、同国への送付は暖かい季節に行うことが大切だと実感しました。車椅子は、この倉庫で4月18日の贈呈式を待ちます。



戦争で苦しむウクライナの子どもたちに15台を送りました。

～ 在日ウクライナ大使館手配のコンテナで様々な支援物資と一緒に車椅子を送りました。～

ウクライナの慈善団体「Misto Dobra」(英語でCity of Goodness)のアンバサダーだという東京在住のウクライナ人女性から、2024年8月にメールが届きました。10月にウクライナ大使館が手配するコンテナがあり、そこに車椅子、リハビリ用具を入れてほしいとのことで、臨時の例会を開催して車椅子等を準備しました。

贈呈先であるMisto Dobraは、ウクライナ西部に位置する都市チェルニウツィーに拠点があり、困難な生活環境に置かれている女性や子ども、暴力に苦しんでいる家族、緩和治療やリハビリテーションを必要とする子どもたちを保護し、複合的な支援を行う

場所として2016年に設立されました。現在は、戦争により疎開を余儀なくされた子どもたちの支援も行っています。300人ほどがその施設で暮らしています。同組織は、国家からの支援を受けていません。避難所の設立や、子どもの世話など最も低い立場にあるウクライナ人の貧困と不安の克服という問題の解決に関わりたいと願う、思いやりのある人々の資金だけで運営されています。(アンバサダーの説明から)

当会からの車椅子15台と日本全国からのウクライナ向けの多くの支援物資を積載したコンテナ船は、12月31日に東京港を出ました。車椅子などは、Misto Dobraに3月末頃に到着する予定です。



急な声掛けにも関わらず「ウクライナ支援」と聞いて皆さんが集まってくれました。目標の15台の整備をどうにかその日に終えることができました。

海外に子ども用車椅子を送る会



日本全国から集まったウクライナ支援物資をコンテナに積み込みました。当会からの車椅子は、木箱に収められています。無駄なスペースは極力避けたいので荷物の大きさとスペースを正確に計測しながら積み込みをしていました。